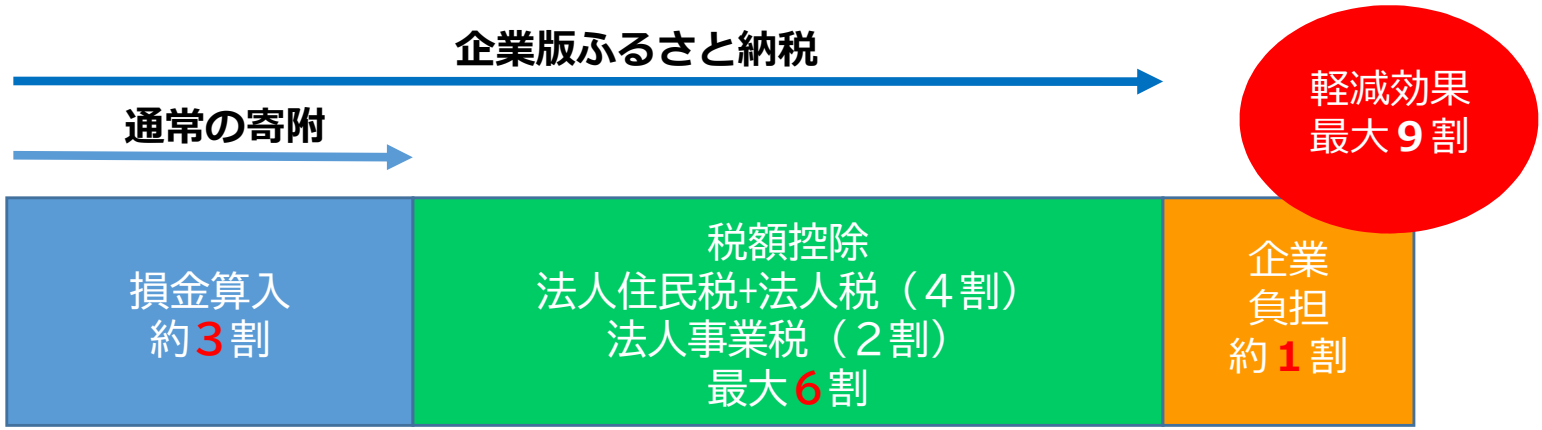
企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について

企業版ふるさと納税　制度の概要

・平成２８年度　内閣府により創設
・国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除される。
・令和２年４月の税制改正により損金算入による軽減効果と合わせて、最大で寄附額の約９割が軽減され、企業の実質負担額は１割となる。
(例：１，０００万円寄附すると、最大約９００万円の法人関係税が軽減)



※内閣府「企業版ふるさと納税リーフレット」を加工

・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止
・１回あたり１０万円以上の寄附が対象
・本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外

【メリット】
地方公共団体：民間資金を活用した地方創生事業の実施、企業とのパートナーシップの構築　等
企業：税控除、ＳＤＧｓへの貢献、地方公共団体とのパートナーシップの構築、ＰＲ効果　等

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について

川口市の地方創生プロジェクト（寄附を募集する事業）

「川口市まち・ひと・しごと創生推進計画」

【基本目標1】 市内経済好循環を強化する



Kawaguchi Products Fair 川口市市産品フェア 2020

市産品フェア事業

「川口市市産品フェア」の開催により、市内企業の販路拡大と発展を図るとともに、地域経済の活性化を図ります。



地域農業活性化事業

地域における特色ある農産物のブランド力強化などにより、販路拡大を図ります。

- 市内事業者への優先発注の推進
- 工業振興事業（川口市産品公共工事活用促進制度）
- 商店街活性化事業　など

【基本目標2】 新たなひとの流れをつくる



自然保護対策事業

グリーンセンター、イイナパーク川口、戸塚環境センターなどを連携させ自然保護の拠点として整備します。

文化芸術の高揚

中核市川口にふさわしい文化芸術の高揚を図るため、美術館の建設をめざします。





- シティプロモーション事業
- 再開発事業
- 区画整理事業
- SKIPシティ整備事業　など

【基本目標3】 次代を担う人材を育てる

私立幼稚園の認定こども園への移行促進
保育士賃金補助制度の推進

地域の実情に応じた保育ニーズを把握し、保育所、認定こども園など多様な施設整備を進めるとともに、安全・安心な保育を実現するため、人材の確保と資質の向上を図ります。



川口市立高等学校及び附属中学校を教育拠点とした学力向上支援・学校教育研修事業

川口市立高等学校を本市の教育拠点とし、学力向上のリーディング校にするため、施設・人材・教材などの充実を図り、中高一貫教育を実施することにより、社会性や豊かな人間性を育成します。

【基本目標4】 安全・安心なくらしを実現する



治水対策事業

河川と下水道の整備を連携して行い、水路や雨水管の流下・排水・貯留といった各能力を向上させ、自然や地形を活かしながら治水・浸水対策を推進します。

多文化共生推進事業

市民・地域・団体・行政が連携して、異文化を相互に理解し、多文化の交流を推進することにより、多文化共生社会の形成を目指します。



- 地域包括ケアの推進　・防犯カメラ配備事業　・橋りょう老朽化対策
- 水道 耐震化・老朽施設更新　・下水道 耐震化・老朽施設の長寿命化
- （仮称）東消防署の建設（鳩ヶ谷分署の建替え）
- 新型コロナウイルス感染症への感染防止対策（テレワークなどの働き方、DXの推進）　など

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について

寄附実績

令和２年度　寄附金額合計　　１，０００万円

企業名	寄附金額	活用した事業
信金中央金庫	１，０００万円	地産地消による地域経済好循環創出事業 （市産品フェア事業）

令和３年度　寄附金額合計　　１５０万円

企業名	寄附金額	活用した事業
第一生命保険株式会社	50万円	新たなひとの流れをつくる事業 （赤山歴史自然公園整備事業）
株式会社ウォーターエージェンシー	１００万円	新たなひとの流れをつくる事業 （赤山歴史自然公園整備事業）

令和４年度　寄附金額合計　　２００万円

企業名	寄附金額	活用した事業
株式会社ウォーターエージェンシー	１００万円	新たなひとの流れをつくる事業 （生物多様性保全事業）
有限会社ヒルタ興業	１００万円	新たなひとの流れをつくる事業 （生物多様性保全事業）

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について

効果・各事業の行政評価

【市産品フェア事業】

市産品フェア来場者数	令和２年度	令和３年度	令和４年度
目標値	６０，０００人	１０，０００人	６０，０００人
実績値・達成状況	５，５０４人(未達成)	１４，４３５人（達成）	２０，９８２人(未達成)

市産品展示会出展企業商談数	令和２年度	令和３年度	令和４年度
目標値	８８５件	８９５件	９０５件
実績値・達成状況	１，９２３件（達成）	２，３４３件（達成）	２，４２７件（達成）

【赤山歴史自然公園整備事業】

イイナパーク川口の整備状況	令和２年度	令和３年度	令和４年度
目標値	6.30ha	8.50ha	8.50ha
実績値・達成状況	6.30ha(達成)	8.50ha(達成)	完成

イイナパーク川口の周辺整備状況	令和２年度	令和３年度	令和４年度
目標値	―	0.06ha	0.09ha
実績値・達成状況	―	0.06ha(達成)	0.09ha(達成)

【生物多様性保全事業】

令和４年度　事業の成果
学生・保護者を対象に、専門業者による生態調査を実施 ・「川口いきもの探検隊」（見沼自然の家周辺）　参加者２０組（応募者　５２組） ・「夜のいきもの観察会」（イイナパーク川口）　参加者３０組（応募者２９８組）

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について

外部評価委員からの意見・今後の取組方向

【外部評価委員からの意見】

・企業側ではPR効果・税額控除などのメリットがあり、市側では企業とのパートナーシップの構築ができ、良い制度だと思う。
・市のホームページ等で企業版ふるさと納税の概要・川口市の地域再生計画（寄附を募集する事業）等を掲載するだけでは、周知不足ではないか。
・本社が市内に所在する企業は対象外のため、広く情報発信し、また、市内に支店等がある企業は対象のため、市とつながりのある企業への呼びかけを期待する。

【課題】

寄附を呼びかけるための情報発信・ＰＲが不足しており、令和３年度から４年度にかけて、寄附件数・寄附金額があまり増加していない。

【今後の取組方向】

令和５年度から、金融機関等、民間企業のネットワークを活用し、市外の企業に対して制度の紹介・川口市の地方創生事業に関する情報発信と寄附の働きかけを行う「企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託」を開始し、寄附件数・寄附金額ともに増加する見込みである。

企業版ふるさと納税
マッチング支援業務委託スキーム

